作成日：西暦 2026 年 08 月 20 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：反復不妊治療症例および 35 歳以上症例における 2 個胚移植の有効性および安全性に関する後方視的観察研究

本研究はまるた ART クリニックの医学研究倫理審査委員会で審査され、院長の許可を得て実施しています。

１．研究の対象

2020 年 3 月～2028 年 3 月に当院で凍結融解胚移植を受けられた方

２．研究目的・方法・研究期間

1）研究目的

「生殖補助医療における多胎妊娠防止に関する見解」では、生殖補助医療（ART）における胚移植数は原則として単一（1 個）と定められていますが、「35 歳以上の女性」または「2 回以上続けて妊娠が成立しなかった女性（反復不妊治療症例）」においては、2 個胚移植が許容されています。

本研究の目的は、「35 歳以上」および「反復不妊（過去に 2 回以上胚移植不成功）」の患者さんを対象に、単一胚移植を実施した症例と 2 個胚移植を実施した症例の治療成績を比較・解析し、2 個胚移植の臨床妊娠率、生産率、および多胎妊娠率、周産期予後を明らかにすることを目的としています。2 個胚移植を行うことで臨床的妊娠率、生産率の向上が期待されます。多胎妊娠に伴う母体および胎児の周産期リスクを評価・検証します。

2）研究方法

診療記録より、凍結融解胚移植を行った患者さんを以下の 5 群に分け、臨床妊娠率、生産率、および多胎妊娠率、周産期予後の比較・解析を行います。初期分割胚を 1 個移植した症例、胚盤胞を 1 個移植した症例、初期分割胚を 2 個同時に移植した症例、胚盤胞を 2 個同時に移植した症例、同一周期内に「初期分割胚 1 個 ＋ 胚盤胞 1 個」の計 2 個を移植した症例。

3）研究機関

倫理委員会承認日 ～ 2028 年 3 月 31 日

３．研究に用いる試料・情報の種類

情報：治療歴、出産歴、採卵時および胚移植時の診療情報、移植胚の情報、妊娠経過　等

４．外部への試料・情報の提供

外部機関への試料・情報の提供は行いません。

５．研究組織

研究責任者：まるた ART クリニック　副院長　濱田　雄行

６．除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
まるた ART クリニック
担当者：濱田　雄行
名古屋市千種区覚王山通 8-70-1 池下 ES ビル 2F・3F
電話：052-764-0010

７．利益相反

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。